

○散歩も気持ちいい、新緑の季節

感染症対策をしっかり守って公園内での散策を楽しんでください。

○浄円坊池に咲く真っ白なスイレンの花。

スイレン属の多年草で、日本ではヒツジグサとも呼ばれています。水位が安定している池を好み、地下茎から水面まで長い茎をのばして葉や花を浮かべます。開花期は5月から10月。古代エジプトでは、太陽のシンボルとして、神話などに登場します。



スイレンとハスの違いってなんだろう？



スイレンとハスは、同じ水生植物でも似て非なるモノ。昔はスイレン科の植物とされていましたが、近年の研究で、DNAの配列や、花粉構造から違う植物だということがわかりました。

※園内の大賀蓮（おおがはす）が咲くのは、例年だと6月中旬ごろです。

○キリはとっても神聖な木なんです！

キリ科キリ属の落葉広葉樹です。古くから良質の木材として、タンスなどを作る際に重宝されています。また、神聖な木として昔から家紋や紋章などにも取り入れられてきました。かつて、豊臣秀吉も桐の家紋を天皇から賜っていたそうです。現代でも法務省では桐の紋章をつかっています。



○エゴノキはいろいろな使い方があります。

エゴノキは、昔、若い実を石鹸のように洗剤として洗濯に使用していました。また、今でも粘り気のある木材は、将棋の駒や和傘のロクロに使用しています。※ロクロとは、和傘を開閉するための骨を束ねるパーツです。



○ピンクのかわいい花、ベニバナトチノキ。

ベニバナトチノキはアカバナトチノキと、セイヨウトチノキ（マロニエ）の交雑種です。毎年5月になるとかわいらしいピンクの花を咲かせます。



○巨木に咲くユリノキの花。



公園の入り口を見下ろすように並ぶユリノキ。その花は、かわいらしいチューリップのような形をしているのでチューリップツリーなんて呼ばれています。また、その葉は半

纏（はんてん）のような形をしているので、ハンテンボクという呼び名もあります。そのほかにも、レンゲボク（花がハスを思わせることから）とも呼ばれているみたいです。